

呼和浩特市派遣感想文

木下晴日

私は今回のサマーキャンプで色々なことを体験し、たくさんの驚きがありました。その中でも特に印象に残ったことを3つ紹介します。

1. 日本に興味を持ってきている外国人がたくさんいる

これは初めて対面した時の歓迎パーティーのときに、私たちが席に座っていると自ら声をかけにきてくれて、「日本のアニメが好き!」「インスタグラムを交換しない?」と、たくさん話しかけてくれたり、呼和浩特市に住む中学生の子は、日本語で話してくれたりしました。少し喋れる程度ではなく流暢に話していて、とても驚きました。また、その後もたくさん話しかけてくれたり、写真を一緒に撮ってくれて本当に嬉しかったです。



2. 中国の文化、雰囲気、建物

まず中国の文化として、ホームビジット先の子と一緒に商店街に行った時に「何か買ってあげるよ」と言われ、ひとつだけだと思い選んで買ってもらうと、その次のお会計も出してくれ、結局は全て奢ってくれました。申し訳ない。と伝えたと、「これは中国のおもてなしの文化だから」と言っており、日本とは全然違うなと思いました。

次に中国の雰囲気として、人々の仲がいいということに驚きました。いろいろな場所ではしかけていたりして、もともと知り合いだったのかと初めは思っていました。日本ではあまり他人のことは干渉しない感じなので、今回のサマーキャンプでエレベーターに乗っていたり電車の中で本当にたくさん話しかけられて、少し戸惑ったけれどだんだん慣れていきました。

そして中国の建物は日本のものに比べ、規模がとても大きかったです。博物館に行ったり、オリンピックの会場がある広い公園のようなところに行きましたが、どれも日本とは比べ物にならないくらい大きくて、とても驚きました。



3. 食べ物

私は中国に来て一番心配していたことが食べ物で、日本とは味が違うので食べられるか不安でした。到着して一番初めに食べたのは鍋で、辛いものもあったけど、どれもおいしくたくさん食べられました。特に私が美味しいと感じたのは、最終日の夜ご飯で、自分で作る春巻きです。具材がターンテーブルに置いてあり、天ぷらのようなものもあって日本でいつも食べる春巻きとは全然違い、自分で作るという楽しみも味わえました。そして、ホームビジット先の子と作った皮から作る餃子もすごく美味しかったです。初めて皮から作って、その子のお母さんとその子が包み方を教えてくれて、形はうまくいなくてどれが私が作ったのか一目でわかるねと話して笑い合いました。そのほかの料理も美味しくて、どれも中国で有名な酢の調味料を使っていると言っていました。



その後

日本へ帰ってきた後も、中国でできた友達と頻繁に連絡していて、いつかお互いの国へ遊びに行きたいと話しています。これを機に新しい言語を学びだし、お互いの言語で話し合ったり、質問したり、たくさん交流を深めています。呼和浩特で出会った通訳さんなどとも仲良くなって、今は会えなくてとても寂しいので、次回またサマーキャンプが開催されたらとても参加したいし、将来中国へ会いにも行きたいです。このサマーキャンプで出会った人々がすごく親切で優しく、たくさんのことを学ぶことができ、得られたものは行く前の心配よりとても大きく、この経験をこれからの人生に活かしていけたらなと思っています。長いようで短かったけど濃く、充実した1週間でした。